



いつも新しい流れがある 市川

令和6年7月10日

報道関係者 各位

市川市市長公室長 後藤 貴志

いちかわ文芸年間賞表彰式の開催について

令和5年度の広報いちかわ「いちかわ文芸」のコーナーにおいて、選定され掲載した俳句、短歌、川柳の中から選者8人が、優秀作品を1作品ずつ選び、表彰します。

記

1. 日時

令和6年7月16日（火）午後4時から

2. 場所

市川市役所 第1庁舎4階 秘書課 応接室

3. 表彰者

	選者	選定者名	
俳句	能村 研三	小田中 準一	海と空 青きを分けて 秋の声
俳句	山崎 靖子	大崎 豊太郎	春光も 一年生の 背中押す
俳句	渡辺 輝子	片倉 正博	十二月 八月の朝 小三で
短歌	日高 堯子	山崎 蓉子	鳥籠へ 陽の届きおり 逝きし夫と
短歌	安田 恭子	八幡 美弘	八歳の 娘が遺した 朝顔は
短歌	清水 麻利子	中村 照代	ふうはりと 雛の歌会 舞ひ込みて
川柳	南澤 たかを	神林 洋右	歯科眼科 明日は耳鼻科へ 杖をつき
川柳	矢嶋 基之	田邊 かつ代	仏壇に 造花を供え 入院す

【いちかわ文芸について】

市民の何気ない日常生活の中から滲みでてきた生活文化、地域文化を育んでいくことが、ひいては市川の固有の文化を育てることにつながるとして、昭和57年度に広報紙に同コーナーを設けました。

現在は毎月第1土曜日の広報紙において、それぞれ部門ごとに掲載しています。

以上

（問い合わせ） 市長公室 広報広聴課 宮崎 美穂 TEL 047-712-8632